

# 全般季節予報支援資料 1か月予報 2017年3月23日

予報期間：3月25日～4月24日 気象庁地球環境・海洋部

## 全般季節予報

### (1) 特に注意を要する事項

西日本と沖縄・奄美では、期間のはじめは気温がかなり低くなる所があるでしょう。

### (2) 出現の可能性が最も大きい天候

北日本日本海側、東日本太平洋側と西日本では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。北日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

### (3) 確率

1か月	気温(%)	1か月	降水量(%)	日照時間(%)
	低 並 高		少 並 多	少 並 多
北日本	20:30:50	北日本日本海側 北日本太平洋側	40:40:20 30:40:30	20:40:40 30:40:30
東日本	40:30:30	東日本日本海側 東日本太平洋側	40:40:20 50:30:20	30:40:30 20:40:40
西日本	40:40:20	西日本日本海側 西日本太平洋側	50:30:20 50:30:20	20:30:50 20:40:40
沖縄・奄美	60:30:10	沖縄・奄美	30:40:30	30:40:30

気温	1週目(%)	2週目(%)	3～4週目(%)
	低 並 高	低 並 高	低 並 高
北日本	20:30:50	20:30:50	20:40:40
東日本	40:40:20	20:50:30	30:40:30
西日本	50:30:20	20:50:30	30:40:30
沖縄・奄美	80:10:10	40:40:20	40:30:30

## 最近1週間の天候経過

最近1週間(3/16～3/22)は、北日本から西日本では高気圧と低気圧が交互に通る天気は数日の周期で変化したものの、低気圧の影響は小さかった。期間のはじめは冬型の気圧配置となり、北日本から西日本の日本海側は曇りや雨または雪の所が多く、太平洋側は概ね晴れた。その後、期間の中頃にかけては、移動性高気圧に覆われて日本海側でも晴れた所が多かった。20日から21日は日本付近を低気圧が通過し、全国的に天気が崩れた。22日は、北日本では寒気や気圧の谷の影響で曇

りや雪の所が多かった一方、東・西日本は概ね晴れた。沖縄・奄美では、寒気や前線の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かった。

気温は、北・東日本と沖縄・奄美で平年を上回り、西日本で平年を下回った。降水量は、全国的に平年を下回った。日照時間は、北・東・西日本で平年を上回り、沖縄・奄美で平年を下回った。

## 予報資料の解釈

### ● 1 か月 (3/25~4/21)

- 500hPa高度は、シベリアから日本の北(50°N~60°N帯)では高い一方、本州付近から日本の東にかけては東西に(ゾーナルに)低い予想。これに、寒帯前線ジェット沿いの波列(バイカル湖付近で+、本州から関東の東で-)と亜熱帯ジェット沿いの波列(チベット付近で+、本州付近で-)が重なり、関東の東に負偏差の極大が予測されている。日本付近が谷場の中で、やや東谷の偏差パターン。
- 850hPa気温は、500hPa高度と整合的に、本州南岸の緯度帯を中心にゾーナルに負偏差の一方、日本の北は全体的に高く、北日本は偏差ゼロ線近傍。
- 海面気圧は、シベリア高気圧の勢力は強く、南東へ(東シナ海付近へ)に張り出しやすい予測。また、バイカル湖付近のリッジに対応して、サハリンからオホーツク海にかけても相対的に高い予測。北日本では下層北東風偏差で、北西の季節風は弱い見込み。
- これらの高気圧偏差の間にあたる、日本海中部から三陸沖にかけてはゾーナルに低く予測されている。この付近では、寒帯前線ジェットの南への蛇行と関連して、日本海中部から三陸沖にかけては気圧の谷となりやすい時期があると見込まれるが、日本付近は東谷傾向で擾乱が発達しにくいことも合わせて考慮する必要がある。
- 熱帯の対流活動は、海面水温の高い海洋大陸から太平洋西部と太平洋東部で対流活発な予測(降水量偏差と200hPa速度ポテンシャルの負偏差域を参照)。海洋大陸から太平洋西部の対流活発傾向に対応して、①亜熱帯ジェット気流の蛇行(チベット付近で北に、華中東岸で南に蛇行)する傾向や、②北太平洋の亜熱帯(30°N以南)では高度場が全体的に高く(上層高気圧性偏差)、30°N付近の偏西風は強く、この緯度帯で南北の高度差が大きくなる傾向(偏西風北側の本州付近から日本の東にかけてはゾーナルに高度が低いことに寄与)が予測されている。なお、赤道季節内振動(MJO)による北半球中緯度への大気循環場への影響は不明瞭。

### ● 1 週目 (3/25~3/31)

- 500hPa高度は、シベリアから日本の北(50°N~60°N帯)では高い一方、本州付近から日本の東にかけてはゾーナルに低い予想。これに寒帯前線ジェットの波列(バイカル湖付近で+、本州から関東の東で-)も重なり、本州の東海上に負偏差の極大が予測されている。また、亜熱帯ジェット沿いの波列により東シナ海付近も高度が低く、日本付近は全体的に負偏差の中で東谷傾向。
- 海面気圧は、シベリアでは全体的に高く、シベリア高気圧の勢力は強く、南東へ(東シナ海付近へ)張り出しやすい予測。一方、本州の南海上は相対的に気圧が低く前線帯になりやすいものの、多雨域は本州の陸上にはかかっていない。また、バイカル湖付近のリッジに対応して、サハリンからオホーツク海でも気圧が高い予測。北日本では下層北東風偏差で、北西の季節風は弱い見込み。
- 850hPa気温は、本州南岸から沖縄・奄美では偏差-3℃以下で、本州以南は負偏差の予測。北日本は偏差ゼロ線近傍だが、週間予報資料では期間後半に本州付近が高気圧となる予測で、南から暖かい空気が流れ込みやすく北海道を中心に高温となる日も予測されている。
- 以上から、全国的に降水量は平年並か少ない見込み。北日本日本海側は寒気や気圧の谷の影響

を受けにくいため、西日本日本海側は高気圧に覆われやすく多照傾向、その他の地方は平年程度の天候を見込む。

➤ 想定される天候

- ・ 北日本日本海側では、天気は数日の周期で変わるが、寒気や気圧の谷の影響を受けにくく、平年に比べ晴れの日が多い。
- ・ 東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わる。
- ・ 西日本日本海側では、天気は数日の周期で変わるが、高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多い。
- ・ 北・東・西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い。
- ・ 沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多い。

● 2週目 (4/1~4/7)

- ・ 500hPa 高度は、1週目に引き続き日本の北(50°N~60°N 帯)では高い一方、本州付近から日本の東はゾーナルに低い予測。寒帯前線ジェットの波列は1週目より少し東へずれ、バイカル湖の東を中心に高度が高い予測。また、1週目に見られた亜熱帯ジェット沿いの波列(華中東岸で-)は不明瞭な予測。結果として、1週目に比べて日本付近の高度場は少し上昇。
- ・ 海面気圧は、大陸の高気圧の東シナ海付近への張り出しは強い傾向は予測されているものの、1週目に比べ沖縄・奄美までの張り出しは弱い。一方、日本海から三陸沖にかけては気圧が低く、この付近が気圧の谷となりやすい予測だが、多雨偏差は予測されていない。これには、寒帯前線ジェットの南への蛇行と関連して日本海から三陸沖が気圧の谷となりやすいが、日本付近は東谷傾向で擾乱が発達しにくいことが関連していると考えられる。このため、この気圧の低い傾向の天候への影響は、平年程度と見る。
- ・ 850hPa 気温は、東シナ海から本州南岸を中心に負偏差の予測だが、1週目に比べて負偏差の程度は弱い。一方、北日本では北海道を中心に+2度前後の正偏差の予測。
- ・ 以上から、西日本では高気圧に覆われやすく多照傾向を見込むほかは、平年程度の天候を見込む。

➤ 想定される天候

- ・ 北・東日本では、天気は数日の周期で変わる。太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。
- ・ 西日本では、天気は数日の周期で変わるが、高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多い。
- ・ 沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多い。

● 3~4週目 (4/8~4/21)

- ・ 500hPa 高度は、日本の北(50°N~60°N 帯)では高い一方、本州付近から日本の東はゾーナルに低い予測。本州から日本の東の負偏差には、寒帯前線ジェット沿いの波列(バイカル湖の東で+、本州付近で-)と、太平洋西部の対流活発による間接的な影響(1か月の項を参照)が関係していると考えられる。
- ・ 850hPa 気温は、東シナ海から本州南岸を中心に負偏差の予測。時系列図では、東日本以西では3週目を中心に気温偏差の極小が予測されている。一方、日本の北は正偏差で、北日本は偏差ゼロ線近傍。
- ・ 海面気圧では、大陸の高気圧の東シナ海付近への張り出しの強い傾向が予測されている。一方、沿海州から北海道の北に負偏差域が予測されている。このため、東日本太平洋側や西日本は気圧の谷の影響を受けにくくなる見込み。また、この付近で高度・気温場が全体的に低いことは、

南から湿った空気が流れ込みにくく、少雨傾向に寄与することが考えられる。

- ・ 以上から、東日本太平洋側と西日本では高気圧に覆われやすく多照傾向、その他の地方は平年程度の天候を見込む。

➤ **想定される天候**

- ・ 北日本では、天気は数日の周期で変わる。太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。
- ・ 東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わる。
- ・ 東日本太平洋側と西日本では、天気は数日の周期で変わるが、高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多い。
- ・ 沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わる。平年と同様に曇りや雨の日が多い。

**気象庁ホームページ**

○季節予報 [http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001\\_00.html](http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html)

○向こう1か月の天候の見通し(1か月予報の解説)」 <http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/pdf/pdf1/001.pdf>  
も参照してください。

---

この資料は、気象事業者等が気象庁の提供する季節予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形で一般に提供することを想定して作成したものではありません。